

(2023 年 9 月号掲載)

エネルギー価格高騰による群馬県内企業への影響と対策

群馬経済研究所 主任研究員 櫻澤広祥
研究員 大井飛知岐

調査のポイント

電力、燃料油、ガスなど事業活動に必要なエネルギー価格が高騰しており、県内企業に対して、その影響と対策について調査した。

要約

- 当研究所が実施した調査によると、調査対象である県内企業のほとんどで、エネルギー価格高騰が経営に大きなマイナスの影響を及ぼしていることがわかった。
- 現在、7 割超の企業がエネルギー価格高騰への対策を実施している。今後は 4 割超の企業が実施を予定する一方、実施するか分からないとする企業も同程度みられた。
- エネルギー価格高騰への対策として、「売上単価引き上げによるエネルギーコスト増加分吸収」「生産・販売効率向上によるエネルギー使用量削減」「エネルギー以外の経費削減」を実施している企業が多くみられた。このように、多くの県内企業が、価格転嫁、省エネ、エネルギー以外の経費削減を重視している。
- 今後の課題として、価格転嫁が難しい、電力調達先の選択肢がない、発電設備や省エネ機器等の設備投資の負担が大きいといった意見が多くみられた。